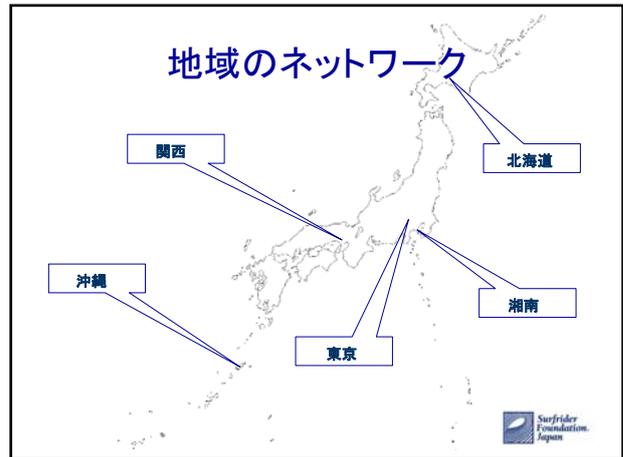


- ### 各チームの活動
- ・ 教育チーム
 - 小中学校にて出前授業の展開。2007年度は全5校にて開催。
 - ・ 水質チーム
 - 湘南の4~6箇所にて毎月行われている。
 - ・ 翻訳チーム
 - 現在63名の登録。SF Internationalからの書類やニュースなどを主に翻訳。
 - ・ 海岸調査チーム
 - サーフポイントカルテの作成。
 - ・ 定点調査プロジェクト
 - (財)環日本海環境協力センターからの事業の一環をSFJが請負し、調査活動へ協力を行う。



北海道



SFJのサポーター-1

- 個人サポーター（寄付）
 - 456人（3/31/07）
 - 363人（9/25/07）
 - **サポーター期間は4月から翌年の3月まで。
- 協力店
 - 269店
 - **協力店はパンフレットの配布などを行い、SFJの活動を広める。SFJグッズの販売をするところも。



SFJのサポーター-2

- ボランティアスタッフ
 - SFJに登録しているサポーターとは限らないが、労力の提供がSFJを“サポート”している。



収支報告

2006

収入 - 8,183,114円

支出 - 7,988,307円

2007- 収入1千万円が期待される。



イベント

- ドノバン日本全国ツアー2007(2月)
 - フリーサーファーでありミュージシャンのドノバン・フランケンレイターが全国8箇所渡り行ったツアーに、SFJが同行。ブースで得た売上げの全てがSFJに寄付された。



イベント

- インター・ナショナル・サーフィンデー
 - 全世界のサーファーが同じ日に、海に感謝する日を作り同じ思いを共有しようという目的で行われている。



六ヶ所村再処理工場に対するアクション

青森県六ヶ所村で平均的な原子力発電所の1年分の放射能物質を、たった1日で放出すると言われている核燃料再処理工場が、本格稼働しようとしている。稼働中を求め、SFJではプロサーファーと協力して署名活動を行い、1月28日に合計31980筆を経済産業省及び内閣府に提出してきました。



Surfrider Foundation Japan

海辺の漂着物調査

- SFJでは、全国に広がるネットワークを利用して、北海道・千葉・神奈川(由比ガ浜)・神奈川(辻堂)・石川・和歌山・高知・長崎・宮崎・沖縄・計10地点の漂着物調査を行いました。



Surfrider Foundation Japan

海辺の漂着物調査活動状況

- 各地点とも、固定のメンバーだけでなく、開催の都度、現地ボランティアスタッフを募り、多くの人の協力の下、調査を行うことができました。



Surfrider Foundation Japan